

自然災害への備え

地球温暖化に伴う気候変動のなせる事だと思いが、九州・中国四国を中心に、お盆の前後 10 日間余り、梅雨末期の豪雨を思わせる大雨が、日本列島を襲い続け大きな被害をもたらしました。亀岡市にも大雨警報・土砂災害警戒情報、東別院町・西別院町には高齢者等避難が出されましたが、幸いにも大きな被害もなく解除されました。全国で被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げますと共に、早期に日常生活を取り戻されます事をご祈念いたします。

さて、全国的に大きな被害をもたらす自然の猛威の中で、「馬路町は大丈夫だと油断していませんか？非常用持ち出しバッグの準備は出来ていますか？」

近年、毎年のように台風や集中豪雨により、浸水や土砂災害などの被害が発生していますが、地震と違って風水害はある程度事前に予測できますが、想定外の被害が発生している昨今であります。危険が迫ったら早めに対応しましょう。風雨が強まってきたら、テレビ・ラジオ・インターネット等を注視、亀岡市からの避難に関する情報に注意しましょう。亀岡市から、避難要請があった際、自治会では、独居世帯・高齢者世帯等、自力で避難が困難な方に対する避難支援のあり方について、民生児童委員・自主防災会・消防馬路分団等と協議を行い、具体的な行動指針を作成しているところであります。無理な避難行動は出来るだけ避け、作成する行動指針に基づいて、まずは命を守ることを最優先にした行動を取りましょう。(中澤謹吾)



昨年度の訓練風景

新型コロナウイルスワクチン接種にかかわって

新型コロナウイルスの新規感染者が、感染力の強い「デルタ株」により急速に拡大しています。京都府では 1 日 500 人を超え、亀岡市においても二桁台の感染者が連日確認されています。このため、8 月 20 日から 9 月 12 日までの間、京都府にも緊急事態宣言が発令されました。こうした感染拡大を止める有効な手段として考えられるワクチン接種がすすめられてきており、亀岡市においては、65 歳以上の 2 回目のワクチン接種率が 87.73% (8 月 20 日現在) となっています。一方、新規感染者の年代別をみると、50 歳代以下の若年層が大半を占めてきており、こうした世代へのワクチン接種が積極的に進められています。

ワクチン接種は、感染症に対する免疫を強めることにより、発症や重症化を予防するだけでなく、感染そのものを防ぐ効果も確認されてきています。接種することにより、周りの人に感染を広げることにも低くなります。ワクチン感染症に詳しい専門家は、感染による重症化などのリスクを考えると、ワクチン接種で発症を防ぐメリットの方が大きいと指摘しています。ワクチン接種については、最後は個人の判断によりますが、「もはや災害時」とも言われる医療提供体制の状況を踏まえ、「感染爆発」を食い止めるためには、個人個人の節度ある行動自粛と共に、ワクチンの確保を急ぎ、ワクチン接種が更なるスピード感で進むことが、強く望まれているのではないのでしょうか。(中川徹)



今後の行事予定

令和3年9月～12月

- ◎ 9月12日(日) 馬路町敬老会(中止)
- ◎10月10日(日) 第56回町民運動会(中止)
- ◎10月15日(金) ふれあいサロン
- ◎10月24日(日) 町内空缶等一斉掃除
- ◎11月 7日(日) 馬路町文化祭
- ◎12月 4日(土) 馬路町人権研修会
- ◎12月28・29日(火・水) 年末特別警戒 (消防馬路分団・自主防災会 他)

編集後記

新型コロナウイルスが経験したことのない感染拡大を続けています。五輪開催の中、緊急事態宣言下でも人流が爆発的に増えているとのこと。改めて「手洗い」「うがい」「マスク」を基本に、科学的な知見も合わせてコロナに打ち勝ち、地域のコミュニティが再生する時を待ち望んでいます。(人見 修)

編集委員長 中澤基行
副委員長 中澤謹吾
委員 中川和子
委員 中川和子
委員 人見修
委員 浅田洋子
委員 河原孝子



発行者:馬路町自治会 令和3年9月1日 亀岡市馬路町流川2-1 (TEL:0771-22-0661) 印刷:(株)天声社

あいさつ 自治会長 中澤基行

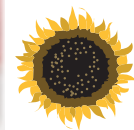
梅雨末期のように降り続く雨と豪雨に翻弄されたお盆の前後10日間でした。そのため、これまで経験したことのない涼しいお盆でもありました。

さて、暑さ対策が最大の課題とされていた東京オリンピック・パラリンピック。新型コロナウイルスの感染拡大第5波と相まって開催自体が危ぶまれていましたが、開催されるとやはりスポーツの持つ有形・無形のパフォーマンスパワーがフル稼働。世界のアスリートの最高のパフォーマンスを十二分に堪能でき、日本選手の活躍に心躍り胸の熱くなった30日間でした。亀岡市出身の空手の荒賀龍太郎選手の銅メダル獲得は、空手発祥の国の面目を保ち、空手道関係者のみならず、亀岡市民にも大きな誇りと勇気・元氣をもたらしました。

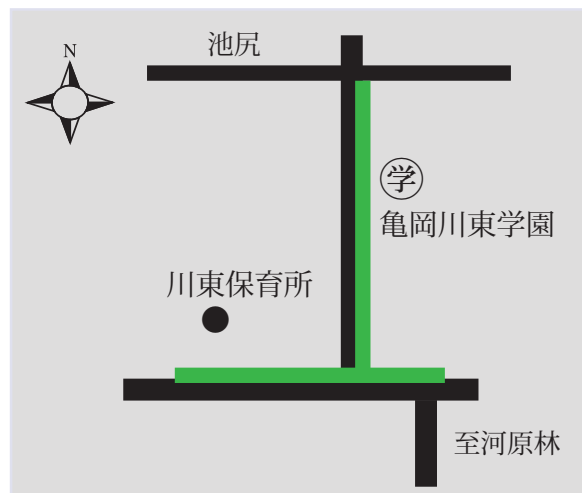
馬路町にとって、今日の、そして今後更なる大きな課題となるのが、空き家対策であります。現時点で65歳以上の高齢者のみの世帯が60数戸、独居世帯も60数戸。いわば沢山の空き家予備軍が存在する点であります。何らかの対策を講じなければ大変な事になります。

銅メダルおめでとうございます！

東京五輪の空手男子組手 75 k 超級で亀岡市出身の荒賀龍太郎さんが銅メダルを獲得されました。



裏を返せば、適切な対策を講じることにより、馬路町の活性化の起爆剤になり得るということだと思っています。現在、川東地域への移住希望者が非常に多くあるというところから、川東4町自治会が連携した取り組みを進めるために、(仮称)川東移住促進協議会発足の準備中であります。私は、イターンとして都市住民の移住の受け皿としての空き家提供も有力な対策だと思いますが、様々な観点から考えると、馬路町から外へ出て行かれたご縁の非常に強い方々に、生まれ故郷に帰ってきてもらう、いわゆるイターンを現実のものとする施策が重要ではないかと考えます。即ち、馬路町の持続可能な将来のまちづくりのためには、一旦外へ出られたとしても、終の棲家としては、再び馬路町に戻る、いわゆるイターン施策の推進を、行政と一緒に今からでもしっかりと取り組む必要があるものと考えます。



馬路町に通学路スクールゾーン設定される

子どもたちの交通安全の確保を図ることを目的に、市道池尻宇津根線及び府道宮前千歳線の一部が、亀岡市・亀岡市教育委員会・亀岡警察署等との協議により、スクールゾーンに設定されました。設定された路線には、「スクールゾーン」の路面標示と電柱への表示(速度注意)がされ、近くに学校や保育所があり、乳幼児・児童・生徒等が通学・通園していることの周知啓発を通じて、子どもたちの、また高齢者の安全確保が期待できるものと考えます。